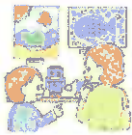


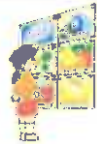


mIRaI 通信



～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

美術展は小中一貫教育だ！



3日（土）、4日（日）の2日間、備前市民センターで、「備前市小中美術展」が開かれました。あいにくの雨となった4日に行ってきました。（元）美術教員ですから、今回で11回目の鑑賞となりましたが、今年も力作ぞろいでした。自分が指導していないという一抹の寂しさを感じつつ、楽しく見させていただきました。今年もテスト週間に当たってしまい、見に行きにくいという状況となったのは残念でした。せっかくの機会ですから一人でも多くの方に見ていただきたいものです。mIRaI 通信でも事前の告知ができなかったことが痛恨の思いです。

小中一貫教育ということで、「9年間を見通した教育」の重要性がよく言われますが、この会場に足を運ぶと、「9年間の成長の跡」が見られます。なんせ、小学校1年生から中学校3年生までの児童生徒の作品が一堂に並んでいるのですから。

見たものへの驚きや感動を、素直に伸び伸びと表現している低学年。色の出し方や形の捉まえ方に個性が出始める中学年期。写実的な表現に憧れ、対象をていねいに見ようとしている高学年。そして、様々な技法を使い、社会性にも目を向け始める中学校期。

「表現」することを通しての「9年間の成長」が、そこに詰まっています。それを見るのは本当に楽しいです。まさに「目で見る小中一貫教育」と言えるのではないのでしょうか。

伊里中学校の生徒たちの作品も、それぞれ自分の作品に対する思いが感じられる素晴らしいものばかりでした。今後も、このように「楽しんで表現する」ことを大切にしていってください。



伊里中学校の展示スペース。ちなみに鑑賞されているのは、前任校の教え子のご家族でした。



コンクールではないので、順位をつける気はさらさらないのですが、今回特に目を引いた作品に「アッキー賞」を。

2年生の水墨画の延兼さん、3年生の木彫の室田君、お見事でした。賞品はありませんが（苦笑）。

ちなみに、写真の小学校2年生児童の自画像に感動しました。この生き生きした表現、素晴らしい！



ふれあいとうびまつり初体験



3日は、「備前市手をつなぐ育成会」のボランティアで、東備支援学校の「ふれあいとうびまつり」で受付のお手伝いをしてきました。

出かける前は、外での受付なので寒かったら大変と、厚めのコートを持っていったの

ですが、とっても温かな日となり、まったく無用の長物と化してしまいました。この祭りへは初めての参加でしたが、午前中はステージ発表が中心で、ご家族や卒業生などの関係者の方が多く、午後は備前焼や野菜等のバザーもあるので、地域や一般の方も多く来られ、東備支援学校がとても愛されていることを実感し、気温以上に温かな気持ちとなりました。備前市内の小中学校から21名の方々が参加してくださいました。受付をしながら、他の小中学校の保護者の方とお話するのも、楽しく、またいろいろな情報も知れて有意義な時間となりました。



メリークリスマス on 玄関 & 廊下

玄関や廊下を目一杯「クリスマスモード」で飾ってみました。気分はもう「シングルベル」ですね。楽しいクリスマスを迎えられるよう、「今」を一生懸命頑張らしましょう。

下の2枚は、今回も、お花の谷口先生とそのお弟子さんが来られ、飾ってくださいました。いつも感謝！です。

二十四節気 小雪

次候「朔風葉を払う (さくふうはをはらう)」11月27日～12月1日頃



冷たい北風が、木々の葉を払い落とす頃。朔風の「朔」とは、「北」という意味で、「木枯らし」のことです。

末候「橘始めて黄なり (たちばなはじめてきなり)」12月2日～6日頃



橘の実がだんだんと黄色くなる頃。冬でもあおとした常緑樹で、万葉集にも登場します。